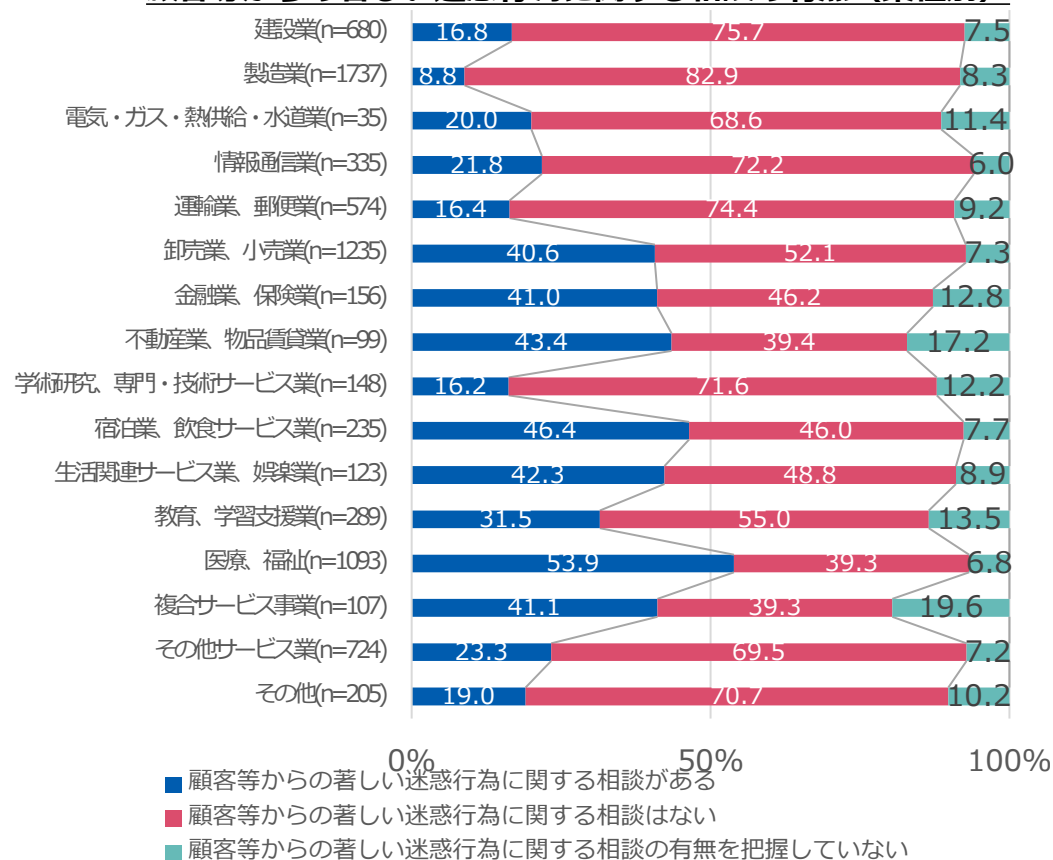


過去3年間の顧客等からの著しい迷惑行為及び就活等セクハラが発生状況に関する業種別の特徴（企業調査）

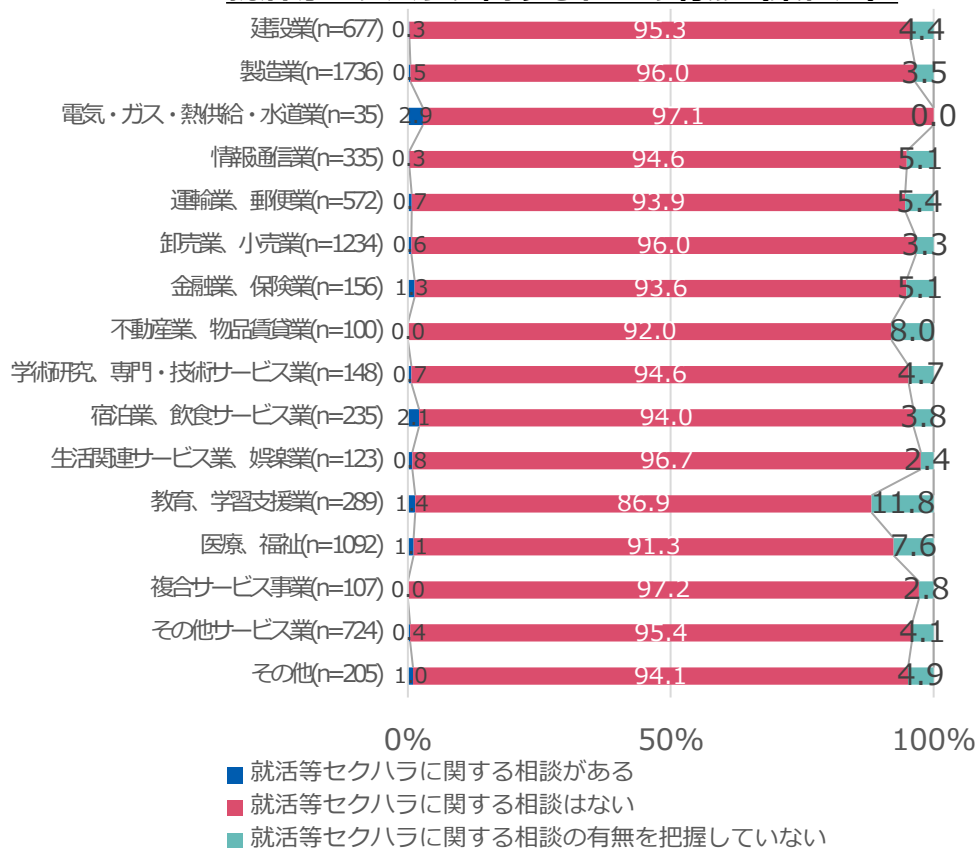
- 企業調査における相談件数の有無について、業種別に割合が高い上位3つの業種を見ると、
 - ・ 顧客等からの著しい迷惑行為では、「医療、福祉」（53.9%）、「宿泊業、飲食サービス業」（46.4%）、「不動産業、物品賃貸業」（43.4%）であり、
 - ・ 就活等セクハラでは、いずれの業種でも3.0%未満であるが、「電気・ガス・熱供給・水道業」（2.9%）、「宿泊業、飲食サービス業」（2.1%）、「教育、学習支援業」（1.4%）である。
- 顧客等からの著しい迷惑行為については、各ハラスメントの中で業種のばらつきが最も顕著（最上位と最下位は45.1%差）である。

顧客等からの著しい迷惑行為に関する相談の有無（業種別）



※調査対象：調査に回答した全ての企業（無回答・無効回答を除く）（n=7,775）

就活等セクハラに関する相談の有無（業種別）



※調査対象：調査に回答した全ての企業（無回答・無効回答を除く）（n=7,768）